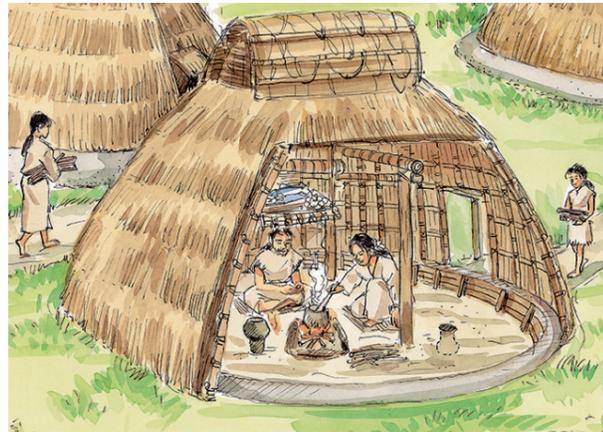


近くの遺跡の竪穴建物跡と復元画



←竪穴建物跡の復元画

知立市間瀬口遺跡の縄文時代中期の竪穴建物跡をモデルにした復元画です。屋内中央に炉が設置され、煮炊きする様子が描かれています。竪穴建物跡の写真を見ながら、このような建物と風景を想像してみてください。

(平成15年度 愛知県陶磁資料館展示図録 『歴史の風景—遺跡からのメッセージ—』より)

川向東貝津遺跡の竪穴建物跡→

一昨年度に調査された、川向東貝津遺跡の縄文時代中期の竪穴建物跡です。遺跡は河岸段丘上の平坦な場所に位置します。竪穴建物跡はやや五角形に近い平面形で、長軸約5.0m。石囲炉も大きな石で五角形に造られています。



川向東貝津遺跡 003SI

←大栗遺跡の竪穴建物跡

昨年度に調査された、大栗遺跡の縄文時代中期の竪穴建物跡です。遺跡の立地は川向東貝津遺跡と似ています。竪穴建物跡は長軸約4.0mです。石囲炉は、大畑遺跡や川向東貝津遺跡と同じように大きな石を組み合わせたもので、こちらは方形となっています。



大栗遺跡 090SI

各遺跡の位置図→

上で紹介した遺跡の位置関係です。丘陵上の高所に位置する大畑遺跡に対して、大栗遺跡と川向東貝津遺跡は川近くにあって立地は異なりますが、いずれも縄文時代中期の竪穴建物跡が見つかっています。

現在はそれぞれ別の遺跡名で呼んでいますが、縄文時代の人々にとっては、「同じ山の中の別の場所」というくらいの感覚だったのかもしれません。



遺跡の位置 (国土地理院発行 1/25000 地形図 田口に加筆)

鹿島山

大畑遺跡地元説明会

2017年11月18日(土)



北からみた大畑遺跡全景

平成29年度 大畑遺跡地元説明会資料

平成29年11月18日 配布

編集
配布



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
HP <http://www.maibun.com>

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802 の 24
電話 (0567) 67-4163【調査課】

Twitter https://twitter.com/aichi_maibun
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaichi>

調査支援 株式会社 二友組



〒465-0094 愛知県 名古屋市名東区亀の井3丁目177 電話 (052) 709-7700



310SI掘削作業風景(南から)
円形の竪穴建物跡。現在、掘削中です。多くの石と、土器・石器が出土しています。



300SI床面検出(西から)
竪穴建物跡。中央に円形の石囲炉を配し、壁際に柱穴が見つかりました。縄文時代中期。



390SI完掘(300SI炉跡・南から)
300SIの炉跡。内面の赤く焼けた様子が実際に使用されていた状況を物語っています。

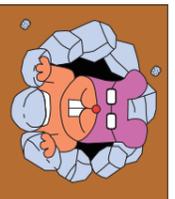


300SIから出土した土器(南から)

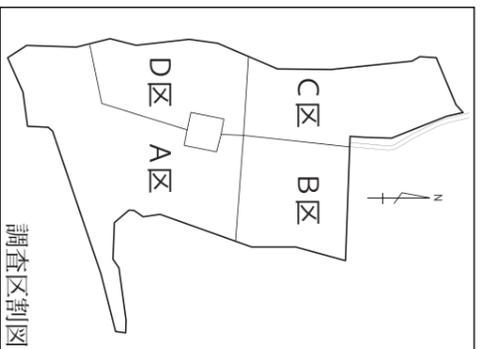
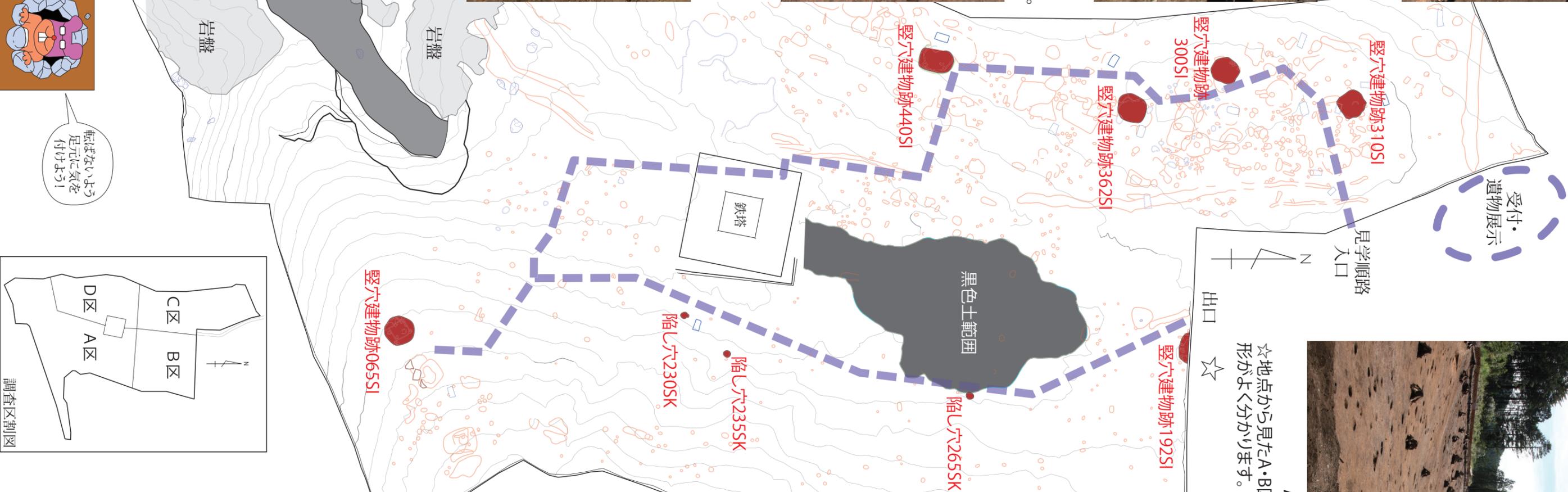
床面から出土した縄文土器の梁鉢。波状口縁(はじょうこうえん)と呼ばれる器形の外面には、渦巻文(うずまきもん)や縄文が。

大畑遺跡の概要

北設楽郡設楽町川向地区の境川右岸に位置する。標高約434m。調査継続中の現在まで、約4500の遺構が見つかっており、竪穴建物跡6棟以上、陥し穴3基をはじめとする縄文時代の遺構、時期不明の溝・土坑が多数あります。
遺物は、打製石斧・石鏃・石皿・剥片などの石器、縄文土器など、縄文時代のもものが多数を占め、他には平安時代の灰釉陶器、近世以降の陶磁器類が少量見つかっています。



転ばないよう
足元に気を
付けよう!



A・B区全景(北から)

☆地点から見たA・B区。東(写真左)に向かって上っている斜面地形がよく分かります。



192SI完掘(南から)
竪穴建物の痕跡。残りがよくありませんでしたが、縄文時代中期の土器が出土。



230SK断割り断面(南から)
陥し穴群の1つ。底面中央に逆茂木(さかもぎ)の痕跡が確認されました。



065SI完掘(西から)
南の尾根上に見つかった竪穴建物。中央に石囲炉、四隅に柱穴が見つかりました。



187SL(065SI炉跡・東から)
方形の石囲炉。よく見ると、北東角(写真右下側)にさらに小さな方形の石組みが...